

岡崎幸田消防指令センターの管轄区域



▲岡崎市消防本部・中消防署

岡崎市消防本部
〒444-0022 岡崎市朝日町3-4
TEL:0564-21-5151(代表)

- 中消防署**
- ①本署
〒444-0022 岡崎市朝日町3-4
TEL:0564-21-5151
 - ②北分署
〒444-2133 岡崎市井ノ口町字楼65
TEL:0564-24-0119
 - ③花園出張所
〒444-2148 岡崎市仁木町字川越254
TEL:0564-66-8119

- 東消防署**
- ④本署
〒444-0005 岡崎市岡町字下河原25-4
TEL:0564-53-0119
 - ⑤南分署
〒444-0836 岡崎市中田町2-2
TEL:0564-54-0119
 - ⑥青野出張所
〒444-0244 岡崎市下青野町字宮東49
TEL:0564-43-6119
 - ⑦額田出張所
〒444-3622 岡崎市櫻山町字山ノ神21-12
TEL:0564-82-4119
 - ⑧本宿出張所
〒444-3505 岡崎市本宿町字西片山30-1
TEL:0564-48-1119
 - ⑨形埜出張所
〒444-3443 岡崎市鍛埜町字中切22-6
TEL:0564-85-3119

- 西消防署**
- ⑩本署
〒444-0941 岡崎市暮戸町字元社口42
TEL:0564-34-0119



▲幸田町消防本部・消防署

幸田町消防本部・消防署
〒444-0113 額田郡幸田町大字藪池字前田41-1
TEL:0564-63-0119(代表)



岡崎幸田消防指令センター
〒444-8601 岡崎市十王町2-9(岡崎市役所東庁舎内)
TEL:0564-21-5151(代表)

消防テレホンサービス
管内で発生している火災等の情報は、
テレホンサービスで
住民の皆様へ情報提供しています。

岡崎市 0564-21-0119
幸田町 0564-73-1119

火災と救急は、119番へ



岡崎市:岡崎城



幸田町:本光寺

Okazaki&Kota

岡崎幸田消防指令センター 高機能消防指令システム



幸田町:こうた風揚げまつり



岡崎市:家康行列

あらゆる災害から住民の生命・財産を共同 で守る 岡崎幸田消防指令センター



岡崎市長
内田 康宏



幸田町長
大須賀 一誠

ごあいさつ

近年の高齢化社会や都市構造の変化により、高度でかつ迅速な災害対応を求められるとともに、大規模災害時には近隣市町と連携し、広域的な災害対応が求められるなど、これまでの消防指令業務の枠を超えた対応が求められるようになってきました。

このような中、岡崎市と幸田町は、高度な消防指令システムを共同で整備し、平成30年4月から消防指令業務の共同運用を開始することとなりました。

このシステムは、119番通報の受信から災害場所の特定、出動車両の編成、出動指令までの事務を確実化するとともに、現場活動に必要な支援情報を活動隊員に提供することができ、より迅速で的確な現場活動が可能となります。

また、両市町のシステムをネットワーク化することで、災害状況を共有でき、相互応援時にも効率的な対応が可能となり、消防本部間の相互連携の強化を図りました。

今後とも市民及び町民の皆様が安全で安心に暮らすことができるよう効率的かつ効果的な消防行政を推進してまいりますので、より一層のご支援ご協力を御願いたします。

平成30年3月吉日



岡崎幸田消防指令センターの特長

- 広域災害・大規模災害への効果的な対応
- 施設、車両などの効率的な運用
- 迅速な相互応援出動
- 複雑多様化した消防需要への対応
- 消防体制基盤の強化

管内情勢
面積(km²): 443.92km²

幸田町
面積(km²): 56.72km²

岡崎市
面積(km²): 387.20km²



平成30年1月1日現在

災害通報の受付から出動までの流れ

119番通報から最短時間での現場到着を目指します



出動車両運用管理装置

車両の位置情報を把握し、災害現場に最も近い車両が出動

車両動態と、GPS(測位衛星)によりリアルタイムな消防・救急車両の位置状況を常時把握するシステムです。災害地点を特定すると、瞬時に災害現場に近い位置の車両から出動部隊を自動的に選別・編成します。短時間による現場到着をサポートしています。

車両運用端末装置

車両にしながら、消防指令センターと同等の情報入手が可能

指令情報や地図情報、道路情報や水利情報といった各種支援情報の閲覧・検索が行えます。また署外活動中に指令を受けた場合でも、端末画面で各種情報の確認が行え、消防業務を効率的に行うことができます。

出動 **岡崎市**

指令を受けた出動隊は、車両運用端末装置の指令情報をもとに、最短時間で災害現場に急行します。

▼岡崎市消防本部・消防署

出動 **幸田町**

指令を受けた出動隊は、車両運用端末装置の指令情報をもとに、最短時間で災害現場に急行します。

▼幸田町消防本部・消防署

統合型位置情報システム

通報地点場所を自動的に探知

動揺していたり、自分の居場所がわからないなど通報者から正確な位置情報が得られない場合でも、本システムにより通報地点を素早く特定することができます。災害地点の確認がよりスムーズに行え、より迅速な現場への出動が可能となります。

メール指令装置

消防団員や関係者にも電話やeメールで指令内容を伝達

消防団員や関係者が所持しているスマートフォンや携帯電話に、事案に応じてeメールや電話音声で指令情報を自動的に一斉配信することができます。災害規模に応じて消防団員や関係者などにも素早い伝達が行えます。

迅速・円滑な指令管制業務の実現

指令装置

119番通報の受付を行います。指令管制業務に関わる全ての有線、無線を取り扱うとともに、自動出動指定装置、地図等検索装置を収容し、連携して運用を行います。
指令装置は4画面フルタッチパネルディスプレイで構成され、キーボード入力やマウス操作以外に電子ペンや手書き文字認識機能を採用し、操作全般のさらなる向上を図ります。

複数目標物検索機能



通報者が自分の居場所がわからない場合に、そこから見える複数の目標物をもとに通報場所を絞り込み、特定を行います。

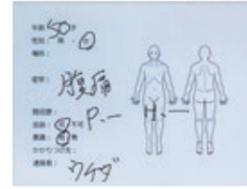
地図ディスプレイ

通報者の位置や災害点付近、車両位置といった情報を地図上に表示します。

多目的ディスプレイ

車両一覧や、病院一覧といった一般支援情報を表示します。

手書きメモ機能



指令台で作成した手書きメモを画像として直接、車両運用端末装置に送信できます。

自動出動指定装置



災害の種類や場所、規模等の情報から、災害現場に近い最適な車両を自動的に選別、迅速な出動指令を行います。

自動出動ディスプレイ

119番受付から事案終了まで、指令管制業務における中心となる装置です。

受付補助ディスプレイ

聴取した内容を、手書きにより文字や図形式にて記録します。

手書き文字認識機能



文字情報を直接ペンで手書きをして入力できます。

指令台モード変更 (大規模災害モード)

通常5席で運用している指令台は通報が集中する状況において、モード切替により指令台を増強して対応ができます。最大10席による運用で、的確かつ迅速に災害事案を処理できる受付体制を確立しています。



【通常運用時】

通常4画面(自動、地図、多目的、受付補助)のディスプレイを活用して、指令管制業務を行います。

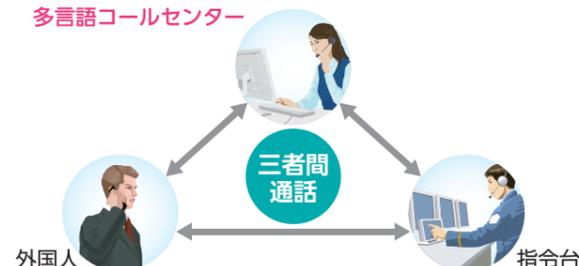


【大規模災害時】

大地震や台風など大規模災害により通報が輻輳した場合、指令台を切替えて運用を行います。

同時通訳サービス

外国人からの119番通報に、指令員、多言語コールセンターの三者間通話により、必要な情報が聴取できます。(英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語に対応)



情報伝達の多層化・充実と情報共有の強化

災害現場画像伝送装置

ハンディカメラや車載カメラで撮影した災害現場の映像や音声を、消防指令センターに送信します。その映像は市、町の災害対策本部へ配信され、最新の状況を確認しながら、迅速な災害対策を検討します。

【ハンディカメラ:岡崎市 2台、幸田町 1台】



【車載カメラ:岡崎市 12台】



岡崎市災害対策本部



幸田町災害対策本部



高所監視カメラ

岡崎市役所屋上に設置された高所監視カメラにより24時間管内を監視しています。遠方の災害状況を超望遠レンズで捉え、災害現場の状況をすばやく把握します。



表示盤

消防指令センターの前面に配置した表示盤に、災害現場状況や車両運用状況、気象情報、地図情報などを表示します。消防指令センター内で情報共有を図りながら、災害状況に応じた指揮活動をはじめとした現場活動全般の支援を行います。



【車両運用表示盤】

指令装置や車両運用端末装置と連動して、各車両の動態情報を一覧表示します。

【多目的情報表示装置】

出動車両の活動状況や災害地点付近の地図など各種情報を必要に応じて切り替えて表示します。

【支援情報表示盤】

管内の119番着信状況や警報・注意報などの気象情報といった各種支援情報を表示します。

事案検索端末装置

災害事案や車両運用状況、病院状況一覧といった最新情報を各消防本部、署所でも検索・閲覧ができます。大規模災害時には、各消防本部・署所間で情報共有を図りながら連携して、迅速・的確な災害活動を行います。



消防情報支援システム

火災・救急等の活動報告書の作成や、防火対象物・危険物施設の台帳管理といった消防事務全般を総合的にサポートするシステムです。指令システムと連携しており、予防査察で確認・更新した防火対象物の情報が、最新の支援情報として指令システム側へも反映されるため、最新の情報をもとに指令管制を行うことができます。

